

# 山岳友の会会報

2024年1月 第50号



パタゴニア\_撮影\_鈴木

## も く じ

年頭のご挨拶	会 長 山口 孝……………2
第 66 回現地研修会（蝶ヶ岳）	報告 1 高橋 里彰……………2
	報告 2 前田 雅志……………3
第 67 回現地研修会（下呂温泉）	報 告 高岡 ゆり……………3
第 64 回現地研修会（蔵 王）	報告 4 渡邊 修……………5
第 65 回現地研修会（御嶽山）	報告 2 出澤 三五子……………9
第 23 回憧憬の森講演会・会員交流会	報 告 小林 久雄……………10

## 年頭のご挨拶

友の会会長 山口 孝



友の会の皆様 新年あけましておめでとうございます

本年も皆様にとって良い年となるよう願ってやみません。

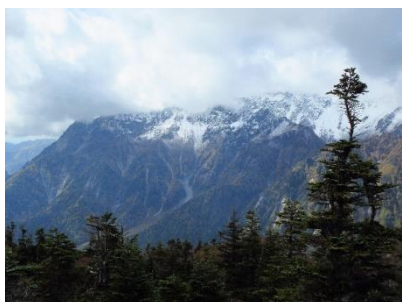
去年の山のシーズンは天候に恵まれ、どこの山でも久々に多くの登山者の入れ込みが見受けられました。コロナ禍も一段落し、マスクなしで気楽に外出できるようになって、日常の賑わいをとり戻した感があります。やはり山は人間の感性を育て、磨きあげる最適な場所なんですね。

これからも友の会の皆様と、山を通して明るく楽しく元気よく、でお付き合いしたいと念じています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 第66回現地研修会（蝶ヶ岳）報告 その1

高橋 里彰

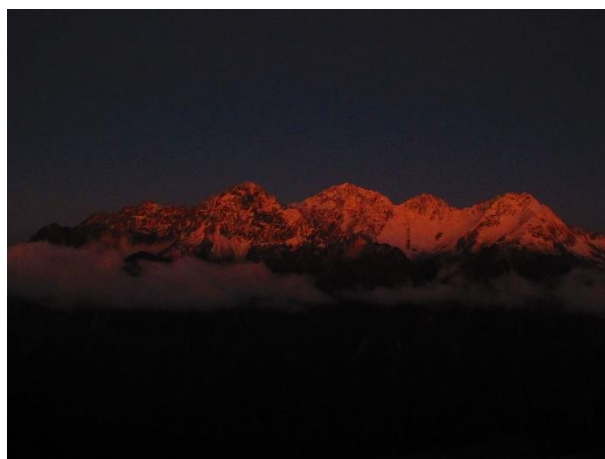
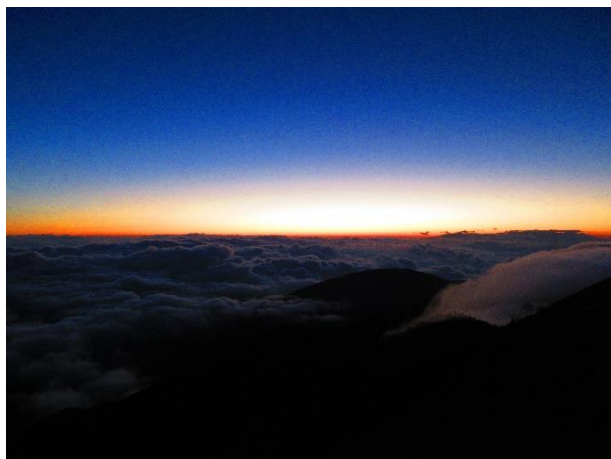
横尾～蝶間は20年近く前に下ったきり。道がよく整備されているのに驚きました。昨年三股から、こちらはほぼ30年振りに登った時に続く二度目の驚き。一方長堀の下りは・・、HPにはコースタイム2時間40分とあるけれど無理じゃないかな。



登頂ルートが3本もあって梢ちゃん大変でしょうが、長堀も宜しく願います。

17日朝は、素晴らしい東の雲海と、西に積雪の穂高・槍の連なる朝焼けの光景に恵まれました。参加者全員、「いいものを見せてもらった～」でしょう。

梢ちゃん Papillon ビール、竹鶴、その他差し入れありがとね～。竹鶴は、美味いとぐびりとやって外で一服して帰ってきたら、もう空になっていたぞ。美味しい酒はすぐに無くなる酒飲み集団、楽しい会でした。





## 第66回現地研修会（蝶ヶ岳）報告 その2

前田 雅志

10月16日～17日、蝶ヶ岳ヒュッテにて開催された現地研修会に参加致しました。

天候に恵まれ雪化粧の槍穂高連峰と神々しいモルゲンロートに一同感激。蝶ヶ岳へ上るには三股、徳澤、横尾と3つの登山口があり会員は三股、横尾から入山ヒュッテに集合となった。

私は横尾口から入山、登山道は一気に高度を稼ぐので森林限界に向け森の植生変化を観察することが出来、さらには特徴ある二重山稜や船窪地形を改めて観察することが出来た。

ヒュッテではオーナーの中村梢氏(本会会員)より過分なるご厚情を賜り一同感謝しきり、親睦を深めました。

下山は徳澤へ、半世紀ぶりに歩く長堀尾根コースは、遠い記憶の通り歩き難くいつまで続くのかと思いながら3時間半で徳澤園の裏にたどり着きました。

## 第67回研修会 恵那峡と高山を巡る下呂温泉への旅 —第67回現地研修会（下呂温泉）報告—

高岡 ゆり

初の登山をしない研修会は天候に恵まれたグルメ旅となりました。

参加メンバーは12名。

小林さん、澤田さん、梶澤さん、鈴木先生、滝澤さん、竹原さん、出澤さん、勅使河原さん、堀内さん、横田さん、渡邊さん、高岡（五十音順）



11月8日(月)8時、松本駅より7名が乗車したバスは出発。

8時20分にはみどり湖パーキングより2名乗車、8時45分に小黒川PAより3名が乗車。

私は小黒川PAより乗車しました。

松本から発車してすでに45分、車内は宴会場です。

荷物を置いて、座る前に手元にビールが……

朝9時から飲めてしまうものです(▽▽);

初めの散策は馬籠宿、予定通りに到着。

馬籠宿は木曾11宿の一番南に位置する宿場町、石畳の坂道には軒の低い格子造りの家が並び、木曾11宿の中でも、江戸時代の面影を色濃く残した宿場です。(国の重要伝統的建造物保存地区)

1時間の時間を設け散策、お店を覗く人、陣場上展望台まで行くなど各自様々。

私は川上屋の期間限定商品「柿の美きんとん」を購入、干し柿と栗きんとんは不思議な美味しさでした。

通り道から少し入った所においしいお豆腐屋さんがあるとの渡邊さん談、ドライバーさんをお願いして立ち寄っていただきました。

「豆乃匠 中島豆腐」さんです。





一番お薦めは売り切れ、お塩で頂きました

渡邊さんが購入してくださったお豆腐を車内で頂きました。とろっと柔らかい濃厚なお豆腐でした。余談ですが、私は後日お店に伺い購入しました。

昼食は恵那峡の「湖樂園」さん、既にお酒の入っているお腹にはボリューム満点のランチでした。

もちろん、ここでもビール頂きました。



食後は全員で恵那峡遊覧船に乗船。

船頭さんの説明が一通り終わり折り返した後半、お酒を飲んだほろ酔いのメンバーは暖かい陽射しにウトウトしながら、乗り場へ戻りました。

バス移動、下呂温泉合掌村にて1時間の散策です。合掌造りが立ち並ぶ道を歩き、一番奥にある円空館へ向かいます。



生涯12万体の仏像を彫ったと言われる仏師円空の仏像が展示されています。下呂市には180余が確認されているそうで、かなりの数がここに展示されていました。



宿泊先の小川屋へ到着は16時、館内の説明を受けますが、小川屋は4棟からなる大きなお宿で、温泉へ行くにはエレベーターを2度乗り換えなければならず、こりゃ迷子になるな・・と皆苦笑い。皆さん迷子にならず行けたのでしょうか？

お部屋へ入室後は夕食まで各自で過ごしました。

お部屋で飲んでいた方もいたようですが、私はミーコさんと温泉へ。

小川屋のお風呂は3つ、大浴場は洗い場が畳敷きの珍しいもの、どちらも露天風呂があります。

もうひとつはスパといわれる石造りのお洒落なお風呂がありました。

翌日は男女が入れ替わるため、スパは到着日しか入れないので、こちらへ向かいました。

沢山のお客様がお泊りのようでしたが、浴室が広いためまったく混雑を感じません。

夕食は、お宿ではなく、歩いて5分程の日本料理「せん田」さんへ。

定休日のところ、開けていただいたとの事。

(渡邊さんのご友人に尽力頂いたと伺いました、ありがとうございました)



立花さんへの献杯で食事がスタートしました。

前菜、蒸し物、先附、土瓶蒸し、天ぷらにすき焼き、と食べきれない程の品数をご用意いただき、お腹いっぱいです。もちろんここでもビール、日本酒と皆さん沢山飲まれていましたが、お腹いっぱいでお酒の入る余裕はありません。

食後はスナックへ移動しての二次会、1時間半ほどカラオケをしながら過ごしました。



お宿に戻った後、女性陣は温泉に入り寝ましたが、男性陣はお酒を飲まれていたお部屋もあったようでした。

11月9日(火) お天気は晴れ

朝食はお宿のバイキング、お総菜など手作りの物も多く品数も豊富でした。

朝からビールを飲んでいての方がいたのは内緒です。

8時半にお宿を出発、高山陣屋へ向かいます。

高山陣屋は明治維新後も地方官庁として使用され、全



国に唯一存在する郡代・代官所との事。

保存のための復元整備も行われ、江戸時代の姿が蘇っています。

展示物も見応えのあるものばかりでした。

次は高山祭屋台会館へ、高山祭の屋台を見学しました。

ひとり一人にレコーダーが渡され、展示物前にある番号を押して、その屋台がどのような物なのか、自分のタイミングで説明を聞くことができる斬新な

ものでした。

季節ごとに展示する屋台は入れ替えられるとの事、高山に立ち寄る際はまた覗いてみようと思います。

昼食は丸明飛騨高山店にて焼肉です。

帰りに車を運転しない人はここでも当然生ビールを頂いていました。



食後は併設される精肉店でち

よっと贅沢なお肉を購入させていただきました。

お腹いっぱい、車中うとうとしていたら小黒川 PA に到着、ここで下車となりました。

2日間、美味しいものを沢山いただきました(^\_^)

たまには山に登らない研修もいいなあ、なんてお声も聞こえていました。

年1回?の恒例になるかもしれません。



※数枚の写真は LINE グループのアルバムよりお借りいたしました

## 第64回現地研修会

「蔵王山と弥彦山を歩き蔵王温泉大露天風呂と瀬波温泉」報告 その4

渡邊 修

2019年12月中華自民共和国湖北省武漢市で発生した原因不明の肺炎患者から発見された新種のコロナウイルス。2020年2月11日、WHO(世界保健機関)は新型コロナウイルス感染症の正式名称を「COVID-19」と決めました。日本では2020年1月15日初の感染が確認され、長野県内でも翌月の2月25日に初の感染が確認されました。当時罹患者、家族への誹謗中傷が後を絶たない状況下で罹患者は恰も犯罪者の様な扱いを受け引っ越し等を余儀なくされた方が多くおられました。

新型コロナウイルスの発生から3年余りが経ち既に国民の 1/4 以上の者が感染し、ワクチン接種が7回にも及ぶ中…。5月8日から、新型コロナウイルスの感染法上の分類が季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられました。「喉元過ぎれば熱さを忘れる…」今迄の規制、誹謗中傷と言った国を揺るがし続けた騒ぎは一体何だったのでしょうか？自問自答しながらも勿論、自分自身感染予防対策は今まで通り万全にと思いつつ…再任用で現職以上に頑張っているつもりで勤務している日々この頃です。

前回63回現地研修会「筑波山・奥久慈男体山と袋田の滝」では5類移行初めてサロンカー形式になったバス。前回同様に後部座席にUの字に座わり皆で楽しく飲める！…何とも嬉しく有難い限りです。友の会の車内の宴会は矢張りこうでなくちゃありません。

令和5年度3回目の現地研修会は、今年度最大のメインイベント！毎度のことながら気の置けない仲間と行く研修会は嫌が上にも楽しく盛り上がらない筈がありません。蔵王のお釜は過去2回行っています。貴重な夏季休暇の3日分をこの日に当て…申し込みをした時点から一日千秋の思いで…期待に胸が膨らんだことは言うまでもありません。

8月30日(水曜日)初日

松本市の俵のアパートに前泊し教授にピックアップしていただき松本駅へ。天気は北アルプスの上空に雲があるものの快晴。「はじめ良ければ全てヨシ！」(常にポジティブに…兎に角、良い方にしか解釈しません！)松本駅アルプス口に到着しバスに乗り込むと早々に皆さんから「なべさん！今回の服装が地味すぎ！何時もらしくない！」との声が！女房が誕生日にプレゼントしてくれたシックな淡色のカーキ色のシャツを着ていったのに…こう見えても職業柄TPOには気を使っているんだけどなあ！次回からはご希望に応じて一寸派手目にしよう。

バスに乗り込むと「あれっ！会長、そして常に場を和ませる？賑やかなコバQこと久雄さんの姿がない！」楽しみにしていた筈なのに欠席とのこと！残念だ……盛り上がり欠けるかなあ！と思いつつ参加者が全員揃ったところで運転手さんから挨拶があり7時30分予定通り参加者12名で出発となりました。

バスの中はサロン形式…7時40分には既にアルコールが入りました。勿論この状況で盛り上がらないはずはありません。安曇野を通過する頃には既に 500cc の缶ビールは空に！更にもう1本…友の会の研修会は矢張りこうでなくてはなりません！久雄さんが居ないのでいつになくかなり沈滞ムードの静かさです。(静けさや…バスに染み入ぬ 久雄なし)であれば責任感の強い私が…代役を務めねばと思いますが流石に年季の入った久雄さんの代役は十年…いや百年早いようでした。

ふーみん(竹原さん)から毎度お馴染みの小分け袋に入れられたオツマミ各種が各自に配られ、そして何時もの漬物セット、堀内さんからは自宅で採れた1粒百円はするであろう高級シャインマスカット等々に舌鼓、順調にアルコールが喉を潤し会話も弾みました。

バスは順調に北上し群馬県北関東自動車道大田強戸PAへ到着し各自で昼食。夜の大宴会に備えて軽めに麺類をチョイス。バスは14時過ぎに広大な城跡「上杉謙信公」が祀られている上杉神社へ到着し参拝しました。



上杉家十代「上杉鷹山(うえずぎようざん)」は困窮、崩壊寸前の藩を復興させた江戸時代随一の名君と知られています。皆さんも一度は耳にした事があると思いますが鷹山公が家臣に示した和歌、「なせば成る 成さねばならぬ何事も 成らぬは人の成さぬなりけり」は万事についての可能性を示す遺訓でありあまりにも有名です。

見学を終えるとバスは一路「蔵王国際ホテル」へ向かいました。皆さん確り飲んで歩いて「1/f の心地良い揺らぎ」に睡魔に襲われた様子で車中は静かな一時でした。

ホテルに到着すると…丁寧なお出迎え。綺麗で随分立派なホテルだ。早速、ウェルカムドリ



ンク、アイスキャンディーで一息。

部屋に戻り浴衣に着替えてホテルの車で蔵王温泉大露天風呂へ直行。溪流沿いの自然景観を充分活用した風情のある温泉だ。湧出温度も45～54度で入浴には最適。上下に作られた露天風呂を夫々堪能し皆で記念撮影してからホテルに戻りました。露天風呂から戻ると今度はホテルのお風呂へ。ノスタルジックな趣のある内湯と露天風呂、更にはお洒落な足湯もありました。平日なので他のお客さんは少なく貸し切り状態でした。部屋に戻り宴会が始まるまで風呂上がりのビールで喉を潤します。勿論、大宴会に影響しない程度に。



大宴会は副会長の熊谷さんの乾杯で始まりました。豪華な「夏の蔵王山懐石」。食前酒に山形県産白ワイン氷結しぼり、先付、口取り、海鮮カルパッチョ、米沢牛A4？A3？と野菜色々のしゃぶしゃぶ、山形産さくらんぼのとろろ鍋、強肴、ご飯の供、お食事、止め椀、デザート…もうお腹一杯…これ以上食べられません！飲んで喋ってまた飲んで楽しい1日が無事終了し早めの就寝となりました。勿論、軒部屋を分けているのでぐっすり眠られたことは言うまでもありません。



#### 8月31日(木曜日)2日目

5時少し前に起床。温泉に入り風呂から上がり6時前には朝食に影響しないようにビールで喉を潤します。朝食はバイキング…余り欲張らないように抑えてと思いつつも朝食は何時も確り食べる方なので相変わらず沢山の種類のおかずを少し。極めつけは…米沢牛のカレー！「えっつ！…朝からカレーかよ！」と思われる貴兄のなんと多いことでしょう！「美味しいものは美味しい、不味いものは不味い…」それでもこれは絶対に外せませんでした！「流石米沢牛…確かに美味しい！」教授も食しておられました。流石、山形出身です。もう一杯…と思いつつもお代わりは止めました。

身支度を整えホテル前で集合写真撮影。「いざ！蔵王山(地蔵岳～熊野岳～刈田岳)」へとホテルを後にしました。天気も我が「山岳友の会」を温かく歓迎してくれ申し分ない天気です。バスは間もなくして蔵王ロープウェイ山麓駅855mに到着し山頂駅へと向かいました。途中ロープウェイからは八ヶ岳の「縞枯れ：立木が等高線上に枯死」と同じ様な現象が見られました。原因は台風などの強風、寒風害、酸性雨、異常気象等々諸説ありますが「これだ！」と言う決定的な原因は解っていません。15分程の空中散歩を楽しみながら山頂駅1661mに到着しました。すぐ近くの地蔵尊の前で集合写真を撮ってから3時間を目途に刈田岳を目指しての登頂となりました。会員も齢を重ね年々3時間を超える様なハードな山行も厳しくなる中、たまにはこの様なハイキング的な山行も有りかなあと感じた次第です。



地蔵岳～熊野岳～歩道脇にはリンドウ、アキノキリンソウ、ヤマハハコ、コマクサなどが見られ心が癒されました。



熊野岳に来るといよいよお釜が見えてきました。天気が良いのでお釜のエメラルドグリーンが映えます。お釜をバックに場所を変えながら何度も集合写真を撮影。お釜を見ながら刈田岳へ向かいました。私はお釜を見るのは3回目ですがこれ程天気が良かったのは初めてでした。皆さんの行いに感謝！感謝！

刈田嶺神社でお参りした後12時にはレストハウスで昼食。「おでんとビール」で軽く空腹感を満たし夕食に備えます。既に購入し

てしまった「山菜うどん」は細萱さんに買っていただきました。細萱さん有り難うねえ！

心地よい山行を終えお腹も満たしバスに乗ればまた一杯！途中ウトウトしながら何時までもほろ酔い状態が続いていました。

バスは本日のお宿「瀬波温泉：大観荘せなみの湯」を目指して走ります。16時過ぎ予定より少し早く宿に到着しました。



玄関口横にはこの越後村上地方で有名な「塩引き鮭」が左右に4匹ずつ吊り下げられ熱烈な？お出迎えをしてくれました。近づいて嗅いでみると…ちょっと匂うなあ！食べれば美味しいだろうけど！まあいいか。何れにせよ明日の朝は此処で集合写真だなあ！ロビーに入るとなんと此処にも鮭！「夫婦鮭」が…造形師：太田征吾が制作した発泡スチロールに彫刻を施した作品と中央にはヨットが鎮座し、大きなガラスの向こうには日本海が迎えてくれました。

山行と車中での飲み疲れを癒しに早速温泉に浸かりました。温度は少し低かったものの露天風呂は左右にあり目の前に水平線が見える素晴らしい景色で、サウナもありました。残念ながらサンセットは見られませんでした。中々良い露天風呂に大満足でした。

お待ちかねの夕食、先付、御造り、焜炉、洋皿、焼物、蓋物、蒸し物、温物、留椀、食事、香の物、デザート…本日も副会長の熊谷さんの乾杯で大宴会が始まりました。でも…こんなに食べられません！両隣の細萱、横田さんに応援してもらい完食。食べすぎだあ！この3日間で一体何キロ増えるだろうか？まあ～いいか！なる様になるだけ。

本日も寝る前に温泉に入って早めの就寝。スパーブルームーンも見られて良かったし、本日も軒部屋は別、ぐっすり眠られる最高だあ！

9月1日(金曜日)3日目(最終日)

快適な睡眠が取れたお陰で4時45分起床。今日も天気は良さそうだ。朝焼けが綺麗に見える露天風呂に直行。湯船に浸かり海を眺めていると…テトラポットの先におや！何か大きな魚の群れが水面を出たり入ったり！イルカか？間違いのないイルカの群れだ！これは朝から縁起がいいぞ！早速スマホで動画撮影。暫し見入ってしまいました。こんな近くにもイルカが来ているとは！諏訪湖の何倍もある海は流石に凄いなあ…と感動！

暫くすると教授と勅使河原さん、横田さんが露天風呂へ。撮影 NG？露天風呂で記念撮影。前日同様風呂上がりには朝食に影響しないよう6時前からビールで喉を潤しました。朝から飲酒！何とも幸せ、幸せ！



昨日食べられなかったウェルカムデザートの冷えたゼリーも食べて暫し歓談。

朝食は此処もバイキング。今日は弥彦神社参拝、弥彦山に寺泊での買い物。山行と言ってもロープウェイでの弥彦山なのでほぼ歩きがない。昨日より更に控えめに野菜と多種類のおかずを取り、勿論ご飯は少なく。



初日の服装が地味すぎると不評だったので、今日は山行もないので皆さんのご要望にお応えしてカジュアルな普段着で！「やっぱり！なべちゃんはそのだ…そうでなくちゃ！」…私には全く意味が解らない！

出発に先立ち玄関横の看板「大観荘せなみの湯」と



「塩引き鮭」の前で集合写真撮影。鮭の隣に立つと…やっぱり匂うなあ…オーマイゴッド…並ぶ場所間違えたなあ！

8時30分バスはお見送りの中、弥彦山を目指して出発しました。

出発早々バスでは3日目の車内宴会がおこなわれました。私が持参したニホンジカの燻製、スモークチーズと昨日の漬物にオツマミ各種…ビールにワイン、日本酒…それにしても相変わらずよく飲めるなあ！



10時過ぎには弥彦神社に到着。神社で参拝。新築された瀟洒な佇まいの木造休憩施設(トイレも綺麗で素晴らしかった)に寄った後、万葉の道から無料のマイクロバスに乗り山麓駅へ105m移動。到着後程なくしてロープウェイで国定公園弥彦山(634m)へと向かいました。天気が良いので水平線の奥には佐渡島も見えました。集合写真を撮ってから11時過ぎにはロープウェイで下山し、寺泊温泉ホテル飛鳥の昼食(海の幸昼食)に向かいました。楽しかった現地研修会もお楽しみの昼食を残

すのみ。

12時には予定通り昼食会場に到着。席に案内されて料理を見てビックリ！ベニズワイガニ1匹、刺身の盛り合わせ、焼き魚、天婦羅、茶碗蒸し、タラ汁、ご飯に漬物等々…制限時間1時間でこれを食べるのは厳しすぎる。先ずはカニから食す…美味しい！カニ酢があればなお最高！カニは面倒だからと言って熊さん？だったかなあ…から1匹もらってカニ2匹に…美味しいけど結構時間が掛かりカニ以外のものは殆ど食せず、隣の者に食べてもらいましたが残念ながらタイムアウト！



お見送りを受けバスは寺泊のお魚センターへ向かいました。私は何時もお土産を沢山買うのですが購入を予定していた「イカの黒づくり」を探しましたが何処の店にも無く敢え無く断念。昼食の満腹感もあり珍しくお土産を買う意欲も無く何も買わずにバスに乗り込み松本駅に向けての出発となりました。高速をひたすら走り予定時刻の少し前には松本駅に無事到着となりました。運転手さん3日間安全運手で快適なバスの旅を有り難うございました。

天気に恵まれ、大いに飲んで食べて笑って…楽しい3日間を有り難うございました。

我が山岳友の会のアルバムにまた一つ新たな善き思い出の1頁が増えました。

## 第65回現地研修会

「高岡&澤田両会員の二の池ヒュッテに泊まる御嶽山」に参加して  
—第65回現地研修会(御嶽山)報告 その2—

出澤 三五子

2014年9月27日の火山噴火から9月で9年。王滝頂上から御嶽山頂上剣ヶ峰までが、7月29日入山規制が解除された。

久しぶりの参加になります。

20日、朝雨が降り心配していた天気も田ノ原登山口(7合目)では晴れて、山肌もきれいに見えていた。

9時出発。鳥居で一礼をし、山道へと進みます。

予想通り、せつち組は早い！すぐに離されてしまう。

久しぶりの登山で思ったように足が動かず、ゆっくり足を進ませた。

汗が止まらない、でもいい汗だ！

こんなゆっくり行動に細萱さんが付き合ってくれ、励まされた。

12時すぎ、王滝頂上にやっと着いた。ここから八丁ダルミ、急登先の頂上剣ヶ峰へと進む。

頂上手前最後の階段は長く1番キツかった。

御嶽神社でお参りを済ませ、一息つき二の池ヒュッテへと急いだ。

14時すぎ、やっと宿に着いた頃、天候が崩れはじめた。

夕食前からコタツに入って美味しいお酒をワイワイ楽しく頂き、疲れも飛んでいた。

21日、雨と強風が夜から続いている。

朝、見て震えた。私の部屋の隣部屋は2014.9.27(土)9年前のまま残されていた。屋根、天井を突き破ったサッカーボールぐらいの噴石、火山灰も散らばっていた。

8時頃、二の池ヒュッテ、雨風の中を出発。足元に気を付け、強風に耐えながら下山した。

10時すぎ、登山口に無事到着。ビジターセンター見学、9年前の火山状況に改めて自然の力に恐ろしさを感じた。お昼におそばをいただき帰路につきました。

参加された皆様、色々ありがとうございました。

## 第23回憧憬の森講演会・会員交流会 報告

小林 久雄

第23回憧憬の森講演会は「黒百合ヒュッテ物語」と題し、米川岳樹さんからお話していただきました。

小屋の歴史は、昭和31年(1956年)米川正利の母、米川つねのが営業を開始したことから始まります。つねさんの夫が黒百合平に別荘がほしいとの遺言から、女将の小屋がスタートし、岳樹さんが三代目です。



小屋の裏手に湧き水はあるそうですが、植生が変わるのを嫌って今は天水を使用し、ソーラー発電で約10kWの発電にて照明やストッカーなどを賄っているとのことでした。トイレも水洗化し、今年改築工事も終わったそうです。今年2月に友の会でお邪魔しましたが、暖かい山小屋で、食事処も椅子とテーブルとなり驚きました。

物流は東邦航空のヘリコプターを活用しており、亡くなられた篠原さんの写真とともに苦労話を懐かしくお聴きしました。

皇室をお迎えした際のお話もされ、また毎年コンサートを6回も企画されているとか。通年の山小屋で2000m越えの天狗岳を望む環境で、人気のほどがよくわかりました。

会員の皆さんは、楽しく講演を聴いた後、早目に交流会会場の凡蔵に突入し、何と女将さんから7升もお酒をいただく面々。来期に向けて益々感動の現地研修会を進められそうです。

【写真：荻野 秀夫】

信州大学山岳友の会会報 第50号

発行日：2024年1月10日 発行：信州大学山岳友の会

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学山岳友の会事務局

TEL：0263-37-3332 FAX：0263-37-2438 E-mail：suims@shinshu-u.ac.jp